

News Release

2012年1月13日

京都大学 物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS)

英国王立化学会 (RSC)

英国王立化学会と iCeMS、新ジャーナル 「バイオマテリアルズ・サイエンス」発刊へ

英国王立化学会 (RSC) と京都大学物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS) は 13 日、英科学誌「バイオマテリアルズ・サイエンス」を新たに発刊する計画を発表しました。物質科学、生物学、化学、物理学における、バイオマテリアル (生物材料や生体材料など) の基礎研究から応用までをカバーする学際的なジャーナルとなります。

投稿は 2012 年 3 月から受け付け、同年 8 月にオンライン速報版の掲載を開始し、冊子体の第 1 号を 2013 年付けで刊行予定です。研究成果がより広く知られるよう、掲載論文のオンライン閲覧は 2014 年 12 月まで無料となります。

RSC が大学と共同でジャーナルを出版するのは日本で初めてで、世界では 2 誌目となります。

同誌の共同編集長には中辻憲夫 iCeMS 拠点長とフィリップ・メッサースミス米ノースウェスタン大学教授が、副編集長には杉山弘 iCeMS・理学研究科教授が既に決定し、他 2 名の副編集長が欧米から加わる予定です。



バイオマテリアルズ・サイエンス表紙イメージ

(左から) 記者発表時の杉山弘教授、中辻憲夫教授、
リス・デイヴィーズ RSC バイオ・マテリアルズ編集局長

コメント

ジェームズ・ミルン RSC 出版部長

バイオマテリアルの研究コミュニティに貢献できて嬉しい。iCeMS との連携も非常に楽しみ。このパートナーシップを活かせば、急成長を続けるこの分野で世界トップレベルのジャーナルにする事は十分に可能。RSC パブリッシングの強みである論文の質と掲載スピードを存分に発揮し、世界の研究者に寄与したい。

バイオマテリアルズ・サイエンス共同編集長、中辻憲夫 iCeMS 拠点長

物質科学、細胞科学、生物医学をまたいだ学際的なジャーナルを RSC と発刊できる事となり、光栄に思う。iCeMS は幹細胞や、メゾ領域の生命システムや機能性材料などに焦点を当てつつ、そうした分野の統合を目指しているので、今回の発刊は iCeMS にとって大きなステップ。また、この融合領域に取り組む研究者のための国際プラットフォームを作るにあたって、重要な礎になる。

同誌 共同編集長、フィリップ・メッサースミス米ノースウェスタン大学教授

今、バイオマテリアル分野は非常に良い状態にある。研究の勢いは増す一方で、科学そのものの発展につながるような発見が相次ぎ、また生命や健康を助けるような材料や装置の開発も進んでいる。注目を集めるこの分野で、バイオマテリアルズ・サイエンス誌をトップジャーナルに成長させる手助けをしたい。

RSC について

www.rsc.org

英国王立化学会 (Royal Society of Chemistry, RSC) は国際的な活動を通じて化学の発展に寄与することを目的とする、化学者のための専門学術協会である。RSC は英国に本部を置き、その会員数は全世界に 47,500 人を数える。その活動は、重要な化学情報を世界に向けて発信する出版活動、初等から専門に至る化学教育の推進、化学知識の一般社会への普及活動など多岐にわたる。

問い合わせ先

飯島由多加 (いじまゆたか) 京都大学 iCeMS 国際広報セクションリーダー

Tel: 075-753-9755 | pr@icems.kyoto-u.ac.jp

清家弘史 (せいけひろふみ) 英国王立化学会 (RSC) 日本代表

Tel: 03-5577-6271 | seikeh@rsc.org